和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第１３号
2019年12月6日

2019年度◆盛夏の記録◆

アジアオセアニア高校生フォーラム

国内とアジア、オセアニア地域の高校生がさまざまな課題について英語で議論する「第５回アジア・オセアニア高校生フォーラム」が７月29日から31日まで県内で行われました。本校からは３年生の薮本佳奈さんが研究発表を行ったほか、２年生の小串楓子さんが司会を務めました。

活動を通して学んだこと

同じ分野に情熱を持つ人と関係を持つことの意義

３年５組　薮本　佳奈

私は教育分野の分科会発表者として参加しました。そこで同じように教育に興味を持つ９人の高校生と、教育について深い議論を交わすことができました。普段、学校でそうした話題について話すことがない分、ディスカッションを通して多くの刺激を受けることができました。またその経験は自分の教育に対する熱意を高めることにもつながっていきました。

同じ分野に関心を持つ人と関係を持ち、話し合うことで、それについてより深い知見を得たり、向上心を高めることができます。アジオセを通してそれを知り、今後は教育関係のイベントに積極的に参加して、関係を広げていこうと思っています。

今後、こうした機会にチャレンジしてみたいと思う皆さん、グループディスカッションでは、自ら出て行かないと発言できません。事前にその分野についての知識、発言、理解するだけの英語力を準備して臨んでください。一番多くの時間が割かれ、かつ友達との距離が縮まる時間なので、グループディスカッションを一番楽しんでほしいです。

どの生徒も、「ただワイワイしたい」という気持ちではなく、「英語力を高めたい」などの向上心を持って来ていました。だから気後れすることなく、ガツガツ行って大丈夫です！